

2007 年度経済学部研究プロジェクト

最終提出論文・作品について

1. 論文の要件

1. 論文の中での議論の進め方が論理的であること
2. 論旨・結論は明確であり、誰にでも理解できるようなものであること
3. 文献や調査結果などの資料は、読者によって共有されなくてはならない
4. 先行研究を踏まえた研究であることがわかるように書く
5. 専門用語を使って、学術的分析を行うこと

2. 文書フォーマット

特別な理由がない限り用紙サイズは A4 とする。用紙は縦置きにして横書きする。論文作成には、パソコン用ワープロソフトを利用する。提出の際には、用紙の前後左右に十分な余白を取り、読みやすいフォントおよびサイズで印刷する。原則として手書きは不可。

3. 要旨

論文の概要を 400 字程度にまとめた要旨を作成し、A4 用紙 1 枚に印刷し、本文に添えること。要旨の 1 行目には論文題目、2 行目に氏名を記入する。

4. 論文の長さ

文字数の規定はないが、1 年の研究成果としての説得性を持つ分量である必要がある。一般的には、20,000～40,000 字が目安となる。研究分野によって大きく異なるので、指導教員と相談すること。

5. 装丁

提出論文は、表紙（論文題目、氏名を記入）、目次、要旨、本文の順に、A4 判ファイルに綴じる。

6. 提出

2008年1月18日（金）に提出するものは、装丁された正本（要旨および本文）とコピー2部（計3部）、要旨および本文のデータファイル（CD-Rに焼くこと）である。研究成果として作品を提出する場合も、作品本体（1部）と共に副論文及びその要旨を各3部提出する。

7. 共同研究

研究を共同で行った場合も、参加者一人一人が論文を提出する必要がある。